

科学研究費助成事業は、人文学、社会科学から自然科学まですべての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的資金」であり、ピアレビューにより、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。

研究種目	部局名	職名	研究代表者名		研究課題	期	間	
新学術領域研究	薬学部	教授	稲垣	冬彦	精密な反応場空間の制御に基づく新規2型配位子含有金属錯体の設計と触媒反応の開発	30	31	
基盤研究(B)	薬学部	教授	角田	慎一	免疫制御シグナルTNFR2-APP3経路の機能解明と低分子がん免疫治療薬開発	30	32	
	現代社会学部	教授	神原	文子	ひとり親家族を生活主体とする支援のあり方に関する日韓共同研究	29	31	
	栄養学部	准教授	石井	剛志	渋味の生理的意義の究明	28	31	
基盤研究(C)	グローバル・コミュニケーション学部	教授	大濱	慶子	移動、越境する大衆娯楽：中国における社交ダンスの受容と再生に関する文化史的研究	31	34	
	法学部	教授	小松	昭人	神戸における企業弁護士業の生成と展開—最高裁判事・山田作之助を中心に—	31	33	
	法学部	教授	福嶋	敏明	アメリカの「文化戦争」における「信教の自由」をめぐる新たな問題状況に関する研究	31	34	
	総合リハビリテーション学部	准教授	大塚	美和子	教職員と保護者の力を活かした問題予防型校内支援システムの実践モデル開発	31	35	
	心理学部	准教授	村山	恭朗	養育行動および子どもの心理社会的適応に及ぼす養育場面における脱中心化の効果の検証	31	33	
	薬学部	助教	平岡	義範	多機能メタプロテアーゼによる核内受容体REV-ERB活性制御機構の解明	31	33	
	薬学部	講師	亀井	敬泰	薬物動態および病態解析に基づく経鼻投与型認知症薬物治療戦略の実証研究	31	33	
	薬学部	教授	杉岡	信幸	造血幹細胞移植における赤血球数変動を考慮したタクロリムスの全血中濃度再評価	31	33	
	薬学研究科	特命教授	水谷	健一	『脳の領域選択的脆弱性』と領域特有の血管環境の関連性	31	33	
	栄養学部	講師	田村	行識	亜鉛シグナルを標的とした筋萎縮および骨粗鬆症に対する新たな予防・治療法の確立	31	33	
	栄養学部	助教	伊藤	智	カンピロバクター属菌フッドチェーン下流における汚染モデルの構築とリスク管理最適化	31	34	
	栄養学部	教授	田中	清	ビタミン不足の臨床的・社会的意義に関する研究	31	34	
	栄養学部	准教授	吉村	征浩	腸内で酢酸を生成するトリアセチンの炎症性腸疾患に対する有効性の評価	31	33	
	人文学部	准教授	矢嶋	巖	明石における「地域の自画像」の研究 — 通史の変遷をたどる —	31	34	
	人文学部	教授	野田	春美	話し言葉における使用実態調査に基づく日本語の否定表現の使用傾向の研究	30	32	
	グローバル・コミュニケーション学部	教授	東	淳一	AIを活用した次世代型英語スピーキング評価法の開発	30	33	
	法学部	教授	木原	正樹	「侵略犯罪」の「指導者」要件の法的意義—ICJのコントロール理論の観点から—	30	32	
	人文学部	准教授	北村	厚	ナチ・ドイツ外交における「中欧」と「ヨーロッパ」の研究	30	32	
	心理学部	教授	小山	正	発達障害児の表出語彙学習過程に見られる非定型性	30	32	
	現代社会学部	研究員	佐藤	忠信	構造工学における中心極限定理に従わない確率現象の探索と確率過程の導出	30	32	
	総合リハビリテーション学部	教授	糟谷	佐紀	障害者の地域自立生活における居住形態の実態と展望	30	32	
	薬学部	助教	瀧本	竜哉	生体内に混入した水銀イオンの除去を目的とする水銀吸着プローブの開発	30	32	
	薬学部	講師	日高	興士	プロテアーゼを標的とするリムーバブル阻害剤の創製	30	32	
	薬学部	助教	山下	琢矢	覚醒剤・麻薬中毒状態における脳内Exosomeの統合オミクス解析	30	32	
	薬学研究科	連携准教授	池末	裕明	がん骨転移治療薬による副作用の早期発見と対策法の開発	30	32	
	薬学部	助教	福島	恵造	抗癌剤シスプラチンのmulticyclerにおける腎障害の予測および影響因子の探索	30	32	
	総合リハビリテーション学部	特命教授	松尾	雅文	ジストロフィンDp711による筋衛星細胞の分裂制御に関する研究	30	32	
	薬学部	講師	中本	賀寿夫	慢性疼痛時における脳内脂肪酸受容体 GPR40/FFAR1 シグナル機構の解明	30	32	
	総合リハビリテーション学部	特命准教授	相原	洋子	マイノリティ高齢者のヘルスリテラシー支援のための地域包括ケアのモデル構築	30	32	
	総合リハビリテーション学部	講師	山本	大誠	統合失調症者の生活機能改善と包括的リハビリテーションに寄与する運動療法の開発	30	32	
	栄養学部	助教	小林	麻貴	乳酸発酵処理が引き起こす豆乳中の成分変化が脂質代謝改善作用に及ぼす影響	30	32	
	栄養学部	准教授	大平	英夫	飲酒習慣ならびに他の食習慣因子による腸内細菌叢の影響に関する臨床栄養学研究	30	32	
	現代社会学部	准教授	水本	有香	持続可能な災害アーカイブの協創に関する研究	30	33	
	総合リハビリテーション学部	准教授	大庭	潤平	片側前腕切断者の断端部筋電信号特性と筋電義手操作能力に関する研究	30	32	
	薬学部	教授	稲垣	冬彦	電子求引性基を持つ新規2型配位子含有金属錯体の合成とその触媒反応への応用	29	31	
	人文学部	准教授	鹿島	基彦	サンゴ礁再生へ向けた南西諸島黒潮域のサンゴ卵重要供給源特定の研究	29	31	
	栄養学部	講師	太田	淳子	介護予防のために、維持すべき下肢筋力と食事パターンに関する研究	29	31	
	経営学部	教授	塩出	省吾	競合状況にある施設のブランドイメージ戦略決定への確率論とファジ理論の融合法	29	31	
	共通教育センター	名誉教授	二杉	茂	一流スポーツ選手の社会的責任としての社会貢献活動についての研究	29	31	
	グローバル・コミュニケーション学部	教授	中西	のりこ	英語の音韻体系を意識させる理論的・自律的発音学習の効果実証研究	29	33	
	人文学部	教授	春日	雅司	鳥取県における女性と地域政治の変容過程—戦後から現代まで—	29	31	
	総合リハビリテーション学部	教授	西垣	千春	生活困窮世帯の特徴分析に基づく予防的支援に関する研究	29	31	
	心理学部	教授	清水	寛之	自己認知と状況認知に支えられたメタ記憶の機能に関する実験的検討	29	31	
	総合リハビリテーション学部	教授	西尾	久英	SMN2遺伝子のイントロンリテンションを応用した脊髄性筋萎縮症新規治療法の開発	29	31	
	共通教育センター	准教授	佐藤	毅	不完全観測下における点検の有効性と保全活動への応用に関する研究	28	31	
	心理学部	教授	土井	晶	職場と教育現場のためのポジティブメンタルヘルス推進プログラムの開発と展開	28	31	
	人文学部	教授	立田	慶裕	読解力の系統的発達を図る学校図書館利用教育のルーブリックモデルの開発研究	28	31	
	グローバル・コミュニケーション学部	准教授	森下	美和	英語コミュニケーションにおける統語的プライミングを利用した統語処理の自動化促進	28	31	
	総合リハビリテーション学部	教授	杉元	雅晴	褥瘡の病態に対応した直流微弱電流刺激によるオーダーメイド治療研究	28	31	
	法学部	准教授	米田	真理子	栄西思想の総合的研究—思想体系と後代の評価をめぐって—	27	31	
	経済学部	教授	岡部	芳彦	カンタベリー大権裁判所の検証遺産目録の活字化と体系的研究	27	31	
	挑戦的研究(萌芽)	経済学部	准教授	林	隆一	アジアの生産財エコシステムの付加価値データベース分析	29	31
		人文学部	准教授	上田	学	新派映画と「新派的なるもの」の系譜学	30	31
		薬学部	教授	角田	慎一	制御性T細胞コントロールのためのイムノサイトカインの創製と最適化デザイン	30	32
	若手研究	法学部	講師	藤川	直樹	近代日本の皇位継承・皇室制度とドイツ法学——制度と学知の継受史——	31	33
法学部		講師	山下	裕樹	不作為による死体遺棄罪の終了時期と公訴時効の成否	31	33	
総合リハビリテーション学部		助教	尾崎	遠見	反応時間の個人内変動を主指標とした軽度認知障害発症リスク評価についての前向き研究	31	34	
心理学部		講師	中川	裕美	うつ病休職者に対するワークライフ・バランス支援プログラムの開発	31	33	
薬学部		講師	池村	舞	糖尿病患者へのがん化学療法レジメン提案に向けた基礎・臨床での有効性・安全性評価	31	34	
総合リハビリテーション学部		助教	田代	大祐	上肢を支持した排泄位が呼吸機能に与える影響	31	32	
人文学部		講師	福島	あずさ	ヒマラヤ南斜面域におけるモンスーン開始前の降水活動と水蒸気量変動の解明	30	33	
栄養学部		教授	水野	千恵	ミネラルウォーターの硬度が米飯の性状および嗜好性に及ぼす影響	30	32	
薬学部		助手	井上	雅己	2型TNF受容体の選択的クラスターリング作用に基づく制御性T細胞の新規増幅法	30	31	
薬学部	講師	中川	左理	緩和ケアチーム活動のアウトカム評価—薬剤師介入の検証とそれに基づく機能の最大化—	30	32		
若手研究(B)	薬学部	講師	鈴木	亮佑	内因性アルブミンの血管透過性・がん標的化機能を活用する新規がん標的化ナノ粒子の開発	29	31	
	法学部	准教授	辻村	亮彦	明治初期開港地における司法	29	31	
	薬学部	講師	安藤	基純	糖尿病関連ヘパトカインが腫瘍増殖・血管新生・白金製剤の薬物治療に及ぼす影響の評価	29	31	
	薬学部	助手	安藤	徹	ホウ素中性子捕捉療法を用いた骨転移の治療方法の開発	29	31	
	心理学部	講師	毛	新華	在中国の日本人の文化適応に関する社会心理学的研究	27	31	
	栄養学部	実験助手	坂本(雷山)	裕香	脂溶性成分の吸収率が向上する植物油の網羅的検索と調理の影響について	28	31	
栄養学部	助教	百武	愛子	栄養表示を日本人の食生活向上のために効果的に活用するための調査研究	28	31		
研究活動スタート支援	心理学部	講師	竹田	剛	神経性過食症患者の自尊感情を向上する個人療法の開発と評価	30	31	
	人文学部	講師	倉持	充希	17世紀イタリアにおける芸術家の学識とその評価に関する研究	1	2	
	人文学部	講師	服部	亮祐	Children's Acquisition of Digree Abstraction: Seeking Evidence from IPL	1	2	
	経済学部	講師	安達	啓介	当期および将来の事業量を考慮した伐出作業時における森林インフラ投資の貢献度の推定	1	2	
特別研究員奨励費	人文学部	PD(学振)・研究員	川上	啓実	『懐風藻』編纂意図の解明—日本漢文学史の構築に向けて—	1	3	
	薬学研究科	DC2(学振)	松浦	涉	脳卒中後疼痛の発症機序の解明と治療戦略の開発	31	32	